

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【公開番号】特開2009-242453(P2009-242453A)

【公開日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-042

【出願番号】特願2008-87485(P2008-87485)

【国際特許分類】

C 08 L	67/03	(2006.01)
C 08 K	3/34	(2006.01)
C 08 K	3/04	(2006.01)
G 02 B	7/02	(2006.01)
H 04 N	5/225	(2006.01)
H 04 N	5/335	(2011.01)
G 03 B	9/00	(2006.01)
G 03 B	17/14	(2006.01)

【F I】

C 08 L	67/03	
C 08 K	3/34	
C 08 K	3/04	
G 02 B	7/02	Z
H 04 N	5/225	D
H 04 N	5/335	V
G 03 B	9/00	
G 03 B	17/14	

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月1日(2010.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

液晶ポリエステル100質量部に対して、数平均粒径が10～50μmのタルク50～110質量部、カーボンブラック2～10質量部配合してなり、荷重たわみ温度が220以上、せん断速度100sec⁻¹、370における溶融粘度が10～150Pa・sであることを特徴とするカメラモジュール用液晶ポリエステル樹脂組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

上記構造単位の組み合わせとしては、

(A1)

(A1)、(B1)、(C1)

(A1)、(B1)、(B2)、(C1)

(A1)、(B1)、(B2)、(C2)

(A1)、(B1)、(B3)、(C1)

(A1)、(B1)、(B3)、(C2)

(A1)、(B1)、(B2)、(C1)、(C2)

(A1)、(A2)、(B1)、(C1)

が好ましく、特に好ましいモノマー組成比としては、p-ヒドロキシ安息香酸、テレフタル酸、4,4'-ジヒドロキシビフェニル（これらの誘導体を含む。）を80～100モル%と、これら以外の芳香族ジオール、芳香族ヒドロキシジカルボン酸及び芳香族ジカルボン酸からなる群から選択される芳香族化合物0～20モル%（両者を合わせて100モル%とする。）である。p-ヒドロキシ安息香酸、テレフタル酸、4,4'-ジヒドロキシビフェニルが80モル%未満になると、耐熱性が低下する傾向にあり、好ましくない。